



医療法人 もろおかクリニック 理事長・院長

諸岡 弘

Hiroshi Morooka

「『早期発見・早期治療』を徹底し  
地域医療を支えたいのです」

## ■ますます燃えさかる医療への情熱

医師で哲学者であるアルベルト・シュヴァイツァーの思想「生命への畏怖」に共感し、医師の道を志した諸岡理事長。医学生時代は学生運動が盛んだったが、そんななかでも独自に臨床研究や薬学研究を重ね、知識を身に付けていったという。理事長の医学に対する誠実な姿勢を周囲は見逃さず、多くの先輩医師が知識や技術を指導したことで、今では名医の呼び名を欲しままにしている。そして独立した現在もなお、医療に対する情熱は陰りを知らない。

●対談記事は 72・73 頁に掲載



# 名医による愛情のこもった診療が 地域住民の健康な毎日を支える



## 医療法人 もろおかクリニック

岡山県瀬戸内市邑久町北島 492-1

TEL 086-943-1222 FAX 086-943-1171

URL : <http://morooka-clinic.info/>



地域のかかりつけ医として近隣住民より篤い信頼を寄せられている『もろおかクリニック』。同クリニックでは、MRI システムやマルチスライス CT、超音波診断装置などを駆使した精密検査が行えることで、大病の早期発見が可能だ。さらに諸岡理事長は、内科、麻酔科、外科、脳神経外科と様々な経験を積んでおり、適切な診療を行う名医との評判が高い。



大西 はじめに、『もろおかクリニック』さんの診療科目をお教えてください。

諸岡 脳神経外科、内科、小児科、リハビリテーション科を診療科目に掲げ、脳ドックも行っております。

大西 脳ドックも行えるとは、充実した設備をお持ちなのですね！

諸岡 MRI システムやマルチスライス CT、超音波診断装置、脳波計、心電計など、通常個人経営のクリニックでは設置しないような専門設備を導入して、「早

期発見・早期治療」を実践しています。開業してから約 2 年が経ち、4,500 名ほどの患者さんを診療しておりますが、入院が必要な重篤患者さんは数名しか出ていないのです。

大西 「早期発見・早期治療」の重要性を証明されているんですね。先ほどお伺いした診療科目も幅広かったですし、諸岡理事長が医師として高い力量を備えておられることがわかります。理事長のご専門は何科なのですか。

諸岡 実は、これと言った専門はないんです。大学を卒業してから内科、麻酔科、外科、脳神経外科と様々な現場で学んできました。

大西 それだけ幅広い診療科目を学ばれるのは、さぞ大変だったでしょう。

諸岡 不思議と、知識と経験を積む機会に恵まれたのです。岡山大学医学部を卒業後、『三豊総合病院』で勤務することになったのですが、当時そこには呼吸器、循環器、消化器内科それぞれのエキ

スパートである先生方が揃っておられましてね。私はその先生方から非常に可愛がっていただき、各分野の一流の知識をたたき込んでもらったのです。一年ほどで十分なノウハウを蓄えられたのですが、当時はまだ治療法のない病も多くて……。特に脳出血を起こされた方は当時の内科治療ではどうすることもできず、悔しく思ったものです。それで、脳神経外科を専門に学ぶことを決意。大学の付属病院に戻り、脳神経外科に配属してもらったのですが「きみは既に十分な知識を持っているので、麻酔を学んでほしい」と言われましてね。

大西 外科で麻酔をするんですか。

諸岡 当時は麻酔科医制度ができたばかりで、麻酔科医が圧倒的に不足していました。ですので、各科で麻酔技術に習熟した人材を育てて麻酔を行っていたのです。それで麻酔技術を習得したのですが、「そろそろ脳神経について本腰を入れて学びたい」と考えていたところ『津山中央病院』の外科に配属が決定。外科手術の経験を積みました。そして再び大学病院へ帰ってくると、今度はクモ膜下出血

## 理事長の持つ豊富なノウハウを 患者さんのために役立ててください

大西 結花（女優）

「早期発見・早期治療」の大切さを、改めて感じる対談でした。こちらのようなクリニックが増えれば、多くの人がより健康な毎日を送れるでしょうね。本日は貴重なお話を、どうもありがとうございました」



これまで培った知識と経験を駆使し  
検査から治療、経過観察まで  
一貫した医療を提供すること——。  
それが私が目指している  
クリニックのあり方なのです

## 諸岡 弘

もろおかクリニック理事長・院長

2008年に、各種特殊検査設備を有する『もろおかクリニック』を開業。医学博士、日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、米国循環器学会特別会員、米国神経学会会員、米国ニューヨーク科学学会会員。



における血管攣縮の原因を探る研究に取り  
かかると辞令が出ましてね。

**大西** 診療はもとより、手術、臨床研究  
にも携わっておられたのですか！

**諸岡** ええ。意外にも一年ほどで研究成  
果が出て、次は米国マイアミ大学神経科  
『米国脳血管障害センター』で、脳血栓  
の研究に取り組むことに。脳血栓の原因  
である血管障害物質を取り出す治療法を  
発表し、ニューヨーク科学アカデミーの  
メンバーに推薦していただく名誉に預か  
りました。

**大西** 数々の功績を築いてこられたので  
すね。そんな理事長が、開業しようと考  
えられたのは何故でしょう？

**諸岡** 大学病院は専門医として重度の患

者さんを診療する機会が多いですが、外  
科なら外科治療のみを担当し、その後の  
経過観察は内科医に引き継がなければな  
りません。しかし私は、これまで得た全  
ての知識や経験を使って、患者さんに一  
貫した診療を提供したかった。そのため  
に独立開業したのです。

**大西** 患者さんも、経験豊かな医師から  
一貫した診療が受けられることを、あり  
がたいと感じていらっしゃるでしょう。

**諸岡** しかし、医療は私一人で行えるも  
のではありません。スタッフ、そして小  
児科医である妻の協力があるからこそ最  
善の医療を行うことができるのです。皆、  
一丸となって治療に励んでくれているの  
で、本当に助かっています。

**大西** 普段、スタッフの方々にはどのよ  
うなお話をされているのですか。

**諸岡** 「患者さんの足元をよく見るよう  
に」と話しています。普段、お話をする  
時は相手の上半身を見るもの。しかし  
我々医療従事者は、普段最もよく使われ  
る足を見て、患者さんの足を洗ったり、  
靴を整えたりするような、愛情溢れる親  
身な対応を行うことが大切なのです。

**大西** そのような理事長の精神が徹底さ  
れているからこそ、大勢の患者さんがこ  
ちらを訪れるのでしょうかね。

**諸岡** これからもそのような「愛のある  
診療」をモットーに、患者さんが健康で  
明るい人生を送れるようサポートし続け  
て参ります。 ■

## Doctor's EYE ■ ■ ■

▼脳神経外科、内科、小児科、リハビリテーション科を診療科目に掲げる『も  
ろおかクリニック』。同クリニックでは「早期発見・早期治療」を徹底するべく、  
MRI システムやマルチスライス CT、超音波診断装置など、最新鋭の精密検  
査機器を設置している。個人経営のクリニックで導入されていることは珍し  
いこれら機器によって、がん、虚血性心疾患、血栓の有無などが検査できる  
ことから、患者の大病予防につながっているという。そのため、開業から 2  
年経過した現在でも、重篤な病状の患者はわずか一桁しかないのだとか。

▼しかし、ただ最新設備を導入したからといって、患者の治療が適切に行え  
るわけではない。様々な治療方法や知識を持つ諸岡理事長と、それを支える  
スタッフがいるからこそ、最善の医療が提供されることにこそ注目すべきだ。



▲ MRI システム



▲ 超音波診断装置



▲ マルチスライス CT